

令和6年度 川西市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

川西市（兵庫県）

○計画期間:令和2年4月～令和8年3月(6年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、第1期計画（平成22年11月～平成27年3月）において、川西能勢口駅周辺の商業施設のリニューアル、イベントの実施などを行い、第2期計画（平成27年4月～令和2年3月）では、中央北地区特定土地地区画整理事業によりキセラ川西せせらぎ公園、文化ホールや福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設、民間の大型商業施設などのキセラ川西地区の整備を進めてきた。第3期計画（令和2年4月～令和8年3月：1年計画期間を延長）では、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性の向上や、働く場所や魅力的な場所を増やすことで様々な人が活躍する中心市街地を創造し、持続可能なにぎわいにつなげることを目標としている。

令和6年度は、令和5年度に引き続き、日常的なにぎわいを生み出し、経済活動を重ね、まちのプレーヤー同士のつながりづくりや発掘を促進し、市民が主体となってまちなにぎわいを作り出す動きが求められ、ソフト・ハード両面において様々な取組を展開した。

ソフト事業では、令和5年度に引き続き、川西能勢口駅の南側ペデストリアンデッキをイベント活用する社会実験を5回開催した他、他主体によるデッキ活用イベントも多数行われ、パブリックスペース活用の動きが広がってきている。また、令和5年度から始まった駅前中心市街地活動拠点の運営について、令和5年度に比べ拠点利用者数も増加し、市民の活動や交流が盛んに行われ、新たな事業が生まれるきっかけとなっている。

ハード事業では、川西市コミュニティパーク整備事業が完了し、駅前商業施設であるアステ川西内に子育て世代を中心に多様な方々が集い憩えるよう、子どもが遊べるよう遊具を設置し、コミュニティパークを整備したほか、大型ビジョンを設置するなど、中心市街地における滞留性の向上、魅力の向上につながっている。これにより、居住人口、地価ともに顕著に上昇しており、今後においても居住や出店ニーズの高まりが期待される。

なお、目標指標として掲げている新規起業者数、新規出店数について、目標値に向けて増加してきているものの目標値まではすこし届いていない状況であり、更なるにぎわいづくりに向けて取り組んでいく必要がある。

引き続き、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区を合わせた中心市街地のにぎわいづくりを推進するため、新規出店や起業者の支援、交流拠点の運営により多くの人が活躍するまちとしての魅力を高めるとともに、清和源氏まつりの開催や各商業施設、イベント主催者などとの連携により回遊性の向上を図る。

【**中心市街地の状況に関する基礎的なデータ**】

(1) **居住人口**

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街 地区域)	令和元年度 (計画前年 度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	令和7年度 (6年目)
人口	8,769	8,763	9,116	9,124	9,164	9,379	
人口増減数	-32	-6	353	8	40	215	
自然増減数	-57	-46	-41	-65	-68	-47	
社会増減数	33	32	415	111	175	221	
転入者数	395	403	674	493	514	593	

(2) **年間販売額（小売業）**

(単位：百万円)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	令和7年度 (6年目)
市全体	133,905	133,905	133,905	133,905	133,905	131,272	131,272	
中心市街 地	45,645	45,645	45,645	45,645	45,645	43,667	43,667	

※最新値である「経済センサス活動調査（令和3年度）」より。

(3) **商店数（小売業）**

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	令和7年度 (6年目)
市全体	655	655	655	655	655	629	629	
中心市街 地	192	192	192	192	192	204	204	

※最新値である「経済センサス活動調査（令和3年度）」より。

(4) **事業所数（宿泊業・飲食サービス業）**

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	令和7年度 (6年目)
市全体	502	502	502	502	502	424	424	
中心市街 地	144	144	144	144	144	123	123	

※最新値である「経済センサス活動調査（令和3年度）」より。

(5) 地価

(単位：円/㎡)

(中心市街 地域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)	令和7年度 (6年目)
相 続 税 路線価平均	—	—	238,750	247,500	258,750	265,000	275,000	
アステ川西 東 側	340,000	380,000	420,000	440,000	450,000	460,000	480,000	
県道12号線 川西市役所 西交差点北	210,000	215,000	235,000	240,000	245,000	250,000	260,000	
川西市役所前 交 差 点 北	165,000	170,000	185,000	185,000	185,000	190,000	195,000	
豊川橋山手線 (オアシス タウン南)	—	—	115,000	125,000	155,000	160,000	165,000	
地価公示平均	359,000	394,000	430,000	448,500	463,000	475,000	488,500	
川 西 5-1	445,000	500,000	550,000	575,000	593,000	607,000	623,000	
川 西 5-4	273,000	288,000	310,000	322,000	333,000	343,000	354,000	

※調査基準日：各年1月1日、公表：地価公示3月下旬、相続税路線価：7月1日

※豊川橋山手線（オアシスタウン南）の相続税路線価：平成30年度及び令和元年度は路線価算定対象外。

2. 令和6年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和6年度、中心市街地活性化協議会では、関係団体等と協議・調整を重ねながら、様々な提案や実施を行った。

令和5年度は、JR川西池田駅-阪急川西能勢口駅連絡橋屋根更新工事事業が完了し、歩行者の快適な通行と安全性を向上させ、中心市街地全体の回遊性が向上したほか、令和6年度には、川西市コミュニティパーク整備事業が完了し、駅前商業施設であるアステ川西内にコミュニティパークを整備したほか、大型ビジョンを設置するなど、中心市街地における滞留性の向上につながった。これらのハード事業を通じて、まちの魅力の向上につながっている。

中心市街地空き店舗等出店支援補助金では、複数の飲食店・小売店の魅力の向上を支援するなど、中心市街地への来街目的が増加し、まちの魅力が向上している。

歩行者・自転車通行量（休日）は、全体でみると令和5年度から9%増加となった。地点別にみると「駅前ピクニックマルシェ」と題して当協議会主催で社会実験を計5回開催したことや、他主体によるデッキ活用イベントが行われたこともあり、川西能勢口駅南北の歩行者デッキでは、通行量が本計画期間で最高値を記録した。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による行動様式の変化が見られ、基準値の水準まで回復していない地点もある。

また、コロナ禍において、阪急川西能勢口駅東口のアミューズメント施設や雑貨店、飲食店などの大型テナントが撤退し、その後も空きテナントの状況が続いており、計画策定時に想定して

いなかったにぎわい喪失の影響を大きく受けたが、令和6年度実施の川西市コミュニティパーク整備事業や駅前周辺の民間マンションの建設等も予定されていることから、人流の変化・通行量の増加が見込まれる。

今後、当協議会や中活事業の実施体制の再構築を進め、地域の商業者・商業施設・関係団体・市民の参加促進と連携強化を図り、情報発信の強化によるまちのにぎわいの創出に寄与するプレーヤーの獲得・育成、商業の活性化に取り組む。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
恒常的ににぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量（休日）	44,177 人/日 (H30)	46,547 人/日 (R7)	49,917 人/日 (R6)	A	B	A
	中心市街地の居住人口の社会増	126 人/年 (H27-30 平均)	194 人/年 (R2-7 平均)	191 人/年 (R2-6 平均)	B	B	A
魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業者数	4 人/年 (H30)	22 人/年 (R7)	17 人/年 (R6)	B	B	A
	新規出店数	5 店/年 (H30)	30 店/年 (R7)	29 店/年 (R6)	B	A	A

< 基準値からの改善状況（※1） >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A：目標達成が見込まれる

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況（※1） >」、< 目標達成に関する見通しの分類（※2） >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」は、「駅前ピクニックマルシェ」のほか、「藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業」や令和6年度新規追加事業である「川西市コミュニティパーク整備事業」などこれまで実施してきた事業の効果が発現しはじめ、歩行者・自転車通行量（休日）の増加、目標の達成が見込める状況にある。

また、「新規出店数」は、中心市街地空き店舗等出店支援事業等の効果もあり、令和4年度、5年度のような出店ピークは過ぎたものの、今後も継続して事業を推進していくことで、新規出店数は目標値並みの数値の上昇を見込んでいる。

「中心市街地の居住人口の社会増」について、計画期間の一年延長により、令和6年度新規追加事業である「川西市コミュニティパーク整備事業」など各種事業の実施によるにぎわい創出を図り、エリア価値が向上した結果、民間マンションの建設が進み、社会増が着実に進んでいる。

「新規起業者数」についても、コワーキングスペース運営支援事業や中心市街地空き店舗等出店支援事業などのほか、市や商工会による各種起業家支援などの効果により、増加傾向にあることから、目標達成見込みである。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」については、令和5年度時点では、みつなかホールの水損事故などの影響やコロナ禍明けという状況の中、歩行者・自転車通行量は微増にとどまったが、「駅前ピクニックマルシェ」、「藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業」や令和6年度新規追加事業である「川西市コミュニティパーク整備事業」などのほか、コワーキングスペースとの連携、みつなかホールの改修などにより、これまで実施してきた事業の効果がようやく発現しはじめ、特に阪急川西能勢口付近の調査地点における歩行者・自転車通行量（休日）が増加したことから、令和6年度は目標値を上回る結果となり、現状のままいけば、目標達成が見込まれる。

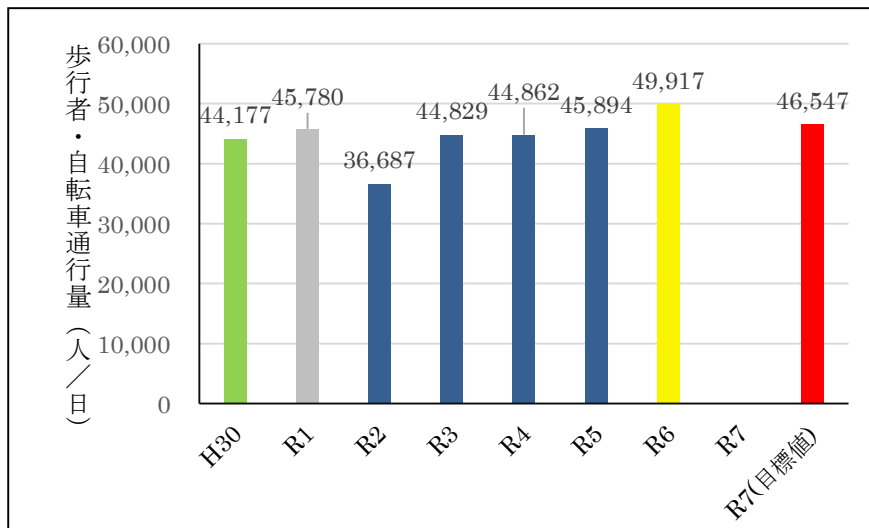
「中心市街地の居住人口の社会増」について、令和5年度時点では、想定通りのマンション建設が進まなかったものの、計画期間の一年延長により、「川西市コミュニティパーク整備事業」など各種事業の実施によるにぎわい創出を図り、エリア価値が向上した結果、民間マンション建設が進み、社会増が着実に進んでおり、現状のままで行けば、目標達成が見込まれる。

「新規起業者数」について、令和5年度までは、コロナ禍明けということもあり、イベント実施増加数が令和6年度に比べ緩やかだったこと、「起業をめざしている者のコミュニティ化」が進んでいない状況であったが、令和6年度に入り、「まちの学び舎かわにし」において、まちのプレーヤーの発掘・コミュニティ化を促進したほか、中心市街地空き店舗等出店支援事業、コワーキングスペース運営支援事業、市や商工会による各種起業家支援などの効果が発現しはじめたことにより、増加傾向にあることから、目標達成見込みである。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者・自転車通行量（休日）」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 79 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	44,177 人/日 (基準年値)
R1	45,780 人/日 (計画前年度)
R2	36,687 人/日
R3	44,829 人/日
R4	44,862 人/日
R5	45,894 人/日
R6	49,917 人/日
R7	46,547 人/日 (目標値)

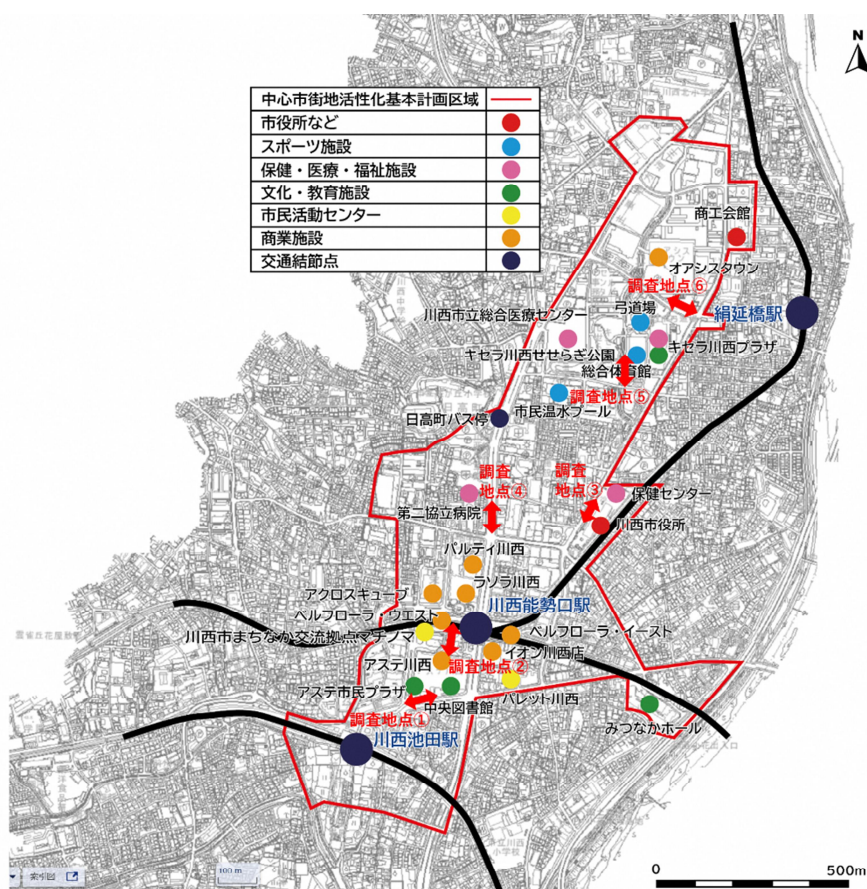
※調査方法： 歩行者・自転車通行量調査

※調査月： 毎年10月実施

※調査主体： 川西市中心市街地活性化協議会

※調査対象： 中心市街地における休日6地点の歩行者及び自転車数

【歩行者・自転車通行量調査地点】



(単位：人)

	平成30年度 (基準年)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	11,120	11,220	9,162	10,800	10,629	10,869	12,117
地点②	20,924	20,547	17,751	22,803	23,247	24,579	28,089
地点③	2,039	2,718	2,832	3,135	2,973	2,370	3,036
地点④	1,934	2,847	2,544	3,117	2,922	2,733	2,670
地点⑤	—	—	1,953	1,251	1,371	1,029	705
地点⑥	—	—	2,445	3,723	3,720	4,314	3,300
合計	36,017	37,332	36,687	44,829	44,862	45,894	49,917

※地点⑤、地点⑥は令和2年度から新たに追加したため、平成30年度と令和元年度は空白。

〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業の進捗は、概ね予定どおり進んでいる。

歩行者・自転車通行量の合計は令和5年度と比較すると増加し、目標値を上回る数値となった。

地点②の川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、デッキ上で音楽や食事、雑貨販売を行う社会実験「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な実施で来場者が着実に増加して滞留を生んでいるほか、

駅前商業施設内にコミュニティパークが整備され、子育て世代を中心に滞留性が生じており、令和5年度の数値より上昇し、本計画期間で最高値を記録した。

地点①のアステ川西南側の歩行者デッキについても、地点②と連動して増加しており、地点②同様、本計画期間で最高値を記録した。

地点③の川西市役所西側の歩道では、藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業やワーキングスペースとの連携などにより成果が表れ始め、増加に転じた。

一方、地点④⑤⑥では、歩行者通行量が減少している。主な要因としては、各目的地へ自動車などを使って向かう層が増えていることが影響していると考えられる。

令和6年度以降の民間マンション建設の動向や大規模商業施設のリニューアルオープンの動向などインフラの充実、市や中心市街地活性化協議会による各種事業などソフト事業の更なる強化による居住人口及び来街者の増加の動向を一定期間把握する必要があると考える。

上記の結果より目標達成が見込める状況となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 51：グリーンスローモビリティ導入事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性向上を図るために、グリーンスローモビリティの運行について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】640人増加 【最新値】現在算定0人増加 令和4年度は、まちなか滞留実感調査（インタビュー調査）を行った結果、約75%が無料なら利用する又は利用しないと回答し、現状ニーズが低い。
事業の今後について	市内公共交通に係る検討と協調して進める必要があるため、地域公共交通計画の策定に合わせて、中心市街地の回遊性のための交通のあり方を検討し、効果的な交通施策の実現を目指す。

②. 6：市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】 [認定基本計画：令和2年度～令和4年度]
事業概要	将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくため、市北部から市立川西病院を移設する。その結果としてキセラ川西地区の都市機能が増進することで、安心して暮らせるまちを創造する。
国の支援措置名及び支援期間	公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度） [認定基本計画：公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度）]
事業目標値・最新値	【事業目標値】2,700人増加

及び進捗状況	【最新値】現在算定 640 人増加 令和 2 年度からキセラ川西地区にて建築工事を施工し、令和 4 年 9 月に開院した。
事業の今後について	指定管理者とともに、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担うとともに、質の高い医療の提供を行う。

③. 10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和 4 年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 $(60 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 420 \text{ 人増加}$ 【最新値】 $83 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人} \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 579 \text{ 人増加}$ 当初の計画通り、令和 4 年度に 2 次本移転が完了し、10 月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り令和 4 年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

④. 11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 $(80 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 560 \text{ 人増加}$ 【最新値】 $(20 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 139 \text{ 人増加}$ キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着いた、令和 6 年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは 3 棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価は高水準を維持しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

⑤. 25：藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	藤ノ木さんかく広場と隣接しているポケットパークを道路管理者と

	連携し、広場の利用と合わせて一体的に活用することで相乗的なにぎわい創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,200人増加 【最新値】基準年比地点③997人+地点④736人=1,733人増加 北側ポケットパークを認定道路区域外としたことにより、普通財産として藤ノ木さんかく広場とより一体的に活用できるようになり、北側ポケットパークを活用したイベント実施を、より円滑かつ効果的に行うことが可能となった。 また、藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークの活用したイベントを1回実施し、延べ参加者数は800人であった。
事業の今後について	藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークが普通財産となったことで、藤ノ木さんかく広場とより一体的な活用が可能となり、大規模なイベントの受け入れも見込まれる。今後は企業への利用促進や市民の日常利用など、幅広い利活用を目指す。

⑥. 24:ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	歩行者は多いもののこれまで有効活用されていなかった川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】500人×2地点×2回≒2,000人増加 【最新値】基準年比地点①997人+地点④736人=1,733人増加 川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」などの路上イベントを8件の道路占用許可を申請し許可を得た。また、イベント実施団体、民間事業者や公的機関など6団体が18件の道路占用許可を申請し許可を受けた。開催された路上イベントにより中心市街地活性化に寄与した。 また、市制70周年記念事業事務局および周辺商業施設と連携し、イベント実施や飲食の提供ではなく、机や椅子、装飾などを施し、人が滞留しやすくなる環境を作ることによって、ペDESTリアンデッキにおける日常的なにぎわいを創出した。
事業の今後について	令和7年度は、川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」等を計10回開催予定である。また、今後のペDESTリアンデッキでのイベント開催について、道路管理者と「路上イベントに関するガイドライン（案）」策定するため、引き続き協議を進めていく。

⑦. 3:都市計画道路豊川橋山手線整備事業（川西市）

事業実施期間	平成26年度～令和4年度【済】
事業概要	キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図り、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成26年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和2年度比地点⑥855人増加 過年度に引き続き、道路拡幅工事を実施した。令和4年7月に工事を完了し、供用開始した。
事業の今後について	近隣小学校への通学路として、通学児童の安全を確保するとともに、キセラ川西地区への接続道路として、まちの活性化に寄与する。

⑧. 4:市道 1313 号（日高町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和 4 年度【済】
事業概要	市道 1313 号の道路拡幅を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業）（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点⑤▲1,248 人増加 歩道整備工事を実施し、令和 4 年 9 月の市立総合医療センターの開院に合わせて、工事を完了した。
事業の今後について	市立総合医療センターへのアクセス道路として来院する方の安全確保及び緊急車両等の円滑な交通の確保を担う。

⑨. 5:市道 3 号（中央町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	都市計画道路鶴之荘花屋敷線の歩道整備を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③204 人増加 未整備区間の用地交渉を行い、事業用地の確保に努めている。
事業の今後について	引き続き未整備区間の用地交渉を行い、事業用地の確保に努める。

⑩. 55:清和源氏まつり（清和源氏まつり実行委員会、川西市観光協会、川西市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史的な観光行事「清和源氏まつり」をキセラ川西せせらぎ公園など中心市街地において実施することで、中心市街地ににぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③204 人増加 第 6 1 回清和源氏まつりを令和 7 年 4 月 6 日に開催。 キセラ川西せせらぎ公園に加え、川西市役所南広場にもキッチンカーを出店し、約 21,000 人の観客が訪れ、本計画が定める成果指標の

	達成に寄与した。
事業の今後について	今後も継続してせせらぎ公園での出店やステージイベントを開催し、観覧者数の増加と中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。

⑪. 60: 駅前中心市街地活動拠点整備運営事業（川西市中心市街地活性化協議会、川西市）

事業実施期間	令和4年度【済】
事業概要	川西能勢口駅前の市民トイレを改修し、活動拠点を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和4年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度に川西能勢口駅前にある市民トイレを改修し、中心市街地のイベント情報の集約・発信やプレーヤーの活動拠点とする整備事業が完了した。
事業の今後について	活動拠点を運営し、中心市街地内の各活動の活性化を図る。また、ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業と連携し、相乗的なにぎわい創出を図る。

⑫. 61: JR 川西池田駅-阪急川西能勢口駅連絡橋屋根更新工事（川西市）

事業実施期間	令和5年度【済】
事業概要	JR 川西池田駅から阪急川西能勢口駅を結ぶ連絡橋の屋根を新しく更新することで、歩行者の快適な通行と安全性を向上させ、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度に屋根更新工事を実施し、令和5年12月に工事を完了した。
事業の今後について	令和7年度は適切な維持管理に努める

⑬. 63: 川西市展（川西市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	芸術作品の公募展の実施
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和6年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度、多くの芸術作品が出展され、キセラ川西プラザほかで展示された。
事業の今後について	引き続き、事業を実施し、多くの人々の来街につなげていくことを目指す。

⑭. 64：市制 70 周年記念事業（川西市）【令和 5 年度追加】

事業実施期間	令和 6 年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅周辺での地域事業者との連携による合同販促イベントやキセラホールでの記念コンサート及びキセラ川西せせらぎ公園周辺での秋の味覚を楽しむイベントなどを実施する。また、川西能勢口駅周辺の施設の壁面などに様々な魚が遊泳しているデザインを用いて、水族館を再現する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 6 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	「祝おう」「楽しもう」「繋げよう」「広げよう、伝えよう」のコンセプトに分類し周年事業を実施
事業の今後について	当該事業で実施した各イベント等について、更なる集客、来街につながるよう PR などの強化に努める。

⑮. 65：川西市コミュニティパーク整備事業（川西市）【令和 6 年度追加】

事業実施期間	令和 6 年度【済】
事業概要	駅前商業施設内に多世代が交流できる場として「コミュニティパーク」を整備する。また、市の様々な情報発信のための大型ビジョンを設置する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和 6 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度にコミュニティパークを整備し、各種イベントなども実施している。
事業の今後について	滞留性のあるコミュニティパークを活かして、更なる集客、来街につなげ、中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。

⑯. 67：みつなかホール改修（川西市）【令和 6 年度追加】

事業実施期間	令和 6 年度【済】
事業概要	みつなかホールの空調設備の改修を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 6 年度に改修を行い、令和 7 年 4 月から利用再開した。
事業の今後について	集客施設であるみつなかホールの利用再開を通じて、中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。

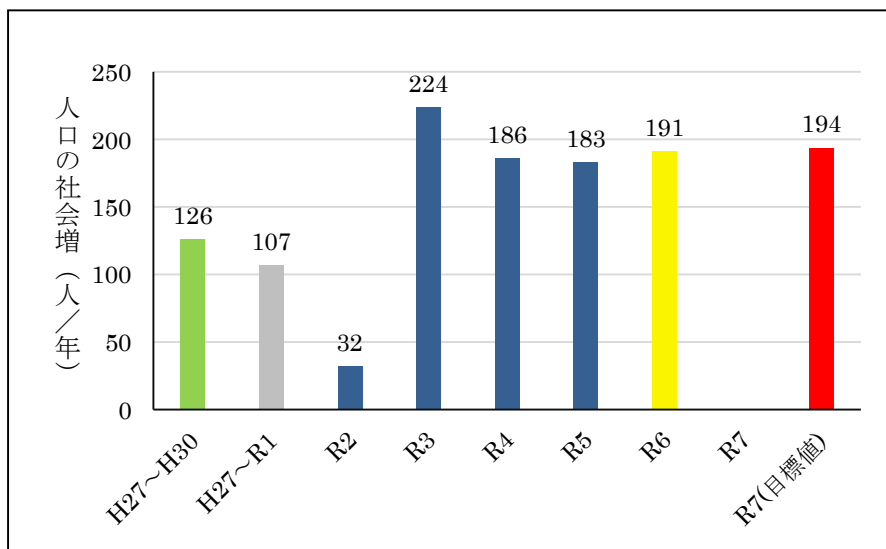
●目標達成の見通し及び今後の対策

歩行者・自転車通行量の増加に向けた事業について、主要事業は概ね予定通り進んでおり、各種事業の成果も出始めたことで、歩行者・自転車通行量の合計は目標値を上回る数値となり、目標達成が見込める状況となった。

とはいえ、減少している地点もあることから、今後は、川西市コミュニティパーク整備事業やみつなかホール改修などのハード事業を活かした各種ソフト事業の実施などの強化を通じて、増加した地点の歩行者・自転車通行量の効果が波及し、中心市街地全体の更なる来街者増加につながるよう、事業を推進していくこと必要である。

（２）「中心市街地の居住人口の社会増」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 80～P. 81 参照

●調査結果と分析



※調査方法：住民基本台帳データから毎年度の人口社会増を集計

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリア

年	(単位)
H30	126 人/年 (H27~H30 平均) (基準年値)
R1	107 人/年 (H27~R1 平均) (計画前年度)
R2	32 人/年 (R2~R7 平均)
R3	224 人/年 (R2~R7 平均)
R4	186 人/年 (R2~R7 平均)
R5	183 人/年 (R2~R7 平均)
R6	191 人/年 (R2~R7 平均)
R7	194 人/年 (R2~R7 平均) (目標値)

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口の社会増に向けた各事業は、予定通り進んでおり、令和6年度は人口の社会増は令和5年度より増加している。対象10地域を地域別に分けて傾向をみると、火打1丁目が最も大きな社会増を計上しており、各種にぎわい創出事業の実施によるエリア価値向上の結果、令和3年度に民間マンションが9棟完成、以後転入が緩やかに続いたことが主要因と考えられる。

今後も中心市街地未利用地民間活用事業などの各種事業を通じて、人口の社会増は継続していくものと予測されることから、目標達成が見込まれる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 10:花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】60戸×2.42人≒146人 【最新値】83戸×2.42人≒200人増加 当初の計画通り、令和4年度に2次本移転が完了し、10月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り、令和4年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

②. 11:民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】80戸×2.42人≒194人 【最新値】112戸×2.42人≒271人 キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着き、令和6年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは3棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価は高水準を維持しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

③. 7:川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和3年度【済】
事業概要	質の高い教育・保育サービスを提供するため、川西北幼稚園と川西北保育園の一体化を進め、幼保連携型認定こども園を整備することで、子育て世代を中心市街地に呼び込み、定住人口の増加をめざす。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和2年度～）

び支援期間	
事業目標値・最新値 及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】まちなか滞留・実感調査 令和２年度比 「ここで暮らしてみたいと感じる」4.6%増加 令和４年４月１日より、川西市立川西北こども園（幼保連携型認定こども園）を開設することができた。
事業の今後について	本一体化施設整備については完了となったが、子育て世代の利用を促進し、定住人口の増加に努めていく。

④. 7:川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和３年度【済】
事業概要	質の高い教育・保育サービスを提供するため、川西北幼稚園と川西北保育所の一体化を進め、幼保連携型認定こども園を整備することで、子育て世代を中心市街地に呼び込み、定住人口の増加をめざす。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和２年度～）
事業目標値・最新値 及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】まちなか滞留・実感調査 令和２年度比 「ここで暮らしてみたいと感じる」4.6%増加 令和４年４月１日より、川西市立川西北こども園（幼保連携型認定こども園）を開設することができた。
事業の今後について	本一体化施設整備については完了となったが、子育て世代の利用を促進し、定住人口の増加に努めていく。

⑤. 57:中心市街地未利用財産利活用検討事業（川西市）【令和５年度追加】

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内の市有未利用財産の市場調査等を実施し、民間への貸付や売却も含む中長期的・効果的な利活用を検討し、区域内の都市機能の増進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和６年度～）
事業目標値・最新値 及び進捗状況	令和６年度に未利用資産の利活用について、民間事業者から意見を聞くためのサウンディング調査を実施し、令和７年３月に旧文化会館等跡地活用に係る公募型プロポーザルを実施して、地域密着型食品スーパー、子育て支援施設、体操教室、地域貢献テナント、ファーストフード店を展開する提案が採用された。
事業の今後について	旧文化会館等跡地が適正に活用されるよう提案事業者と協議の上、まちなかのにぎわいづくりを推進していく。

⑥. 62：中心市街地未利用地民間活用事業（川西市）【令和5年度追加】

事業実施期間	令和6年度～【実施中】
事業概要	中心市街地内に存置している未利用財産（建物）を解体し、民間事業者へ更地を貸付又は売却することで未利用財産の効果的な活用を行い、区域内の都市機能の増進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和6年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度に未利用資産の利活用について、民間事業者から意見を聞くためのサウンディング調査を実施し、解体の必要性について検討を行った。
事業の今後について	旧文化会館等跡地が適正に活用されるよう提案事業者と協議の上、まちなかのにぎわいづくりを推進していく。

⑦. 65：川西市コミュニティパーク整備事業（川西市）【令和6年度追加】

事業実施期間	令和6年度【済】
事業概要	駅前商業施設内に多世代が交流できる場として「コミュニティパーク」を整備する。また、市の様々な情報発信のための大型ビジョンを設置する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和6年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和6年度に雨天でも子どもが遊べるよう遊具を設置し、子育て世代を中心に多様な方々が集い憩えるコミュニティパークを整備し、各種イベントなども実施している。
事業の今後について	滞留性のあるコミュニティパークを活かして、更なる集客、来街につなげ、中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。

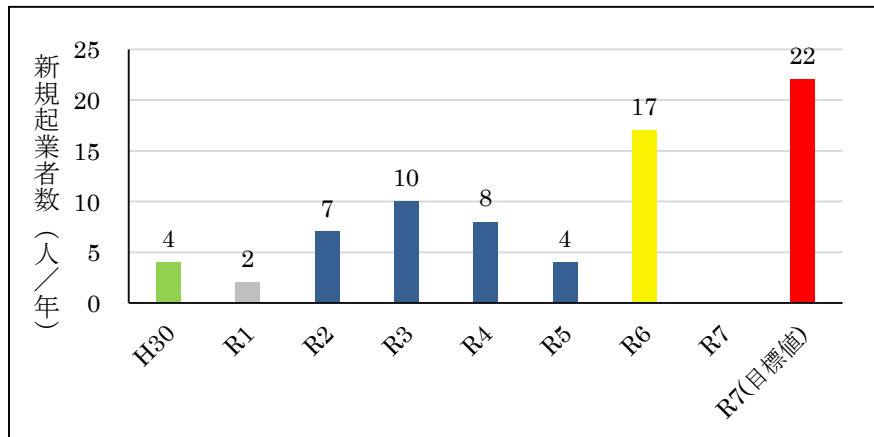
●目標達成の見通し及び今後の対策

人口の社会増に向けた主要事業は予定通り進捗しており、令和4年度に花屋敷団地建替事業が完了し、今後も順次居住者へ引き渡されることで、花屋敷1丁目の市内転居者の増加が見込まれる。また、令和5年度以降の中心市街地で完成した民間マンションは5棟であり、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれ、引き続き転入者が増加することが予想される。

今後は、増加傾向にある転入者数の増加が続くよう、中心市街地未利用地民間活用事業などを通じて、更なる社会増を目指す。

(3)「新規起業家数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 82～P. 83 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	4 人 (基準年値)
R1	2 人 (計画前年度)
R2	7 人
R3	10 人
R4	8 人
R5	4 人
R6	17 人
R7	22 人 (目標値)

※調査方法：経済センサスによる調査、市及び市商工会での聞き取り調査

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に起業した者

〈分析内容〉

中心市街地空き店舗等出店支援事業、コワーキングスペース運営支援事業のほか、市や商工会による各種起業家支援などの効果が発現しはじめたことにより新規起業家を着実に輩出しており、新規起業家数は大幅に増加した。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数 500 人×想定企業割合 2%=10 件 【最新値】1,257 人×2%=25 件 令和6年度は4月から2月までの間、令和3年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者、家賃や人件費、通信回線使用料の一部の補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	家賃等の費用の一部の補助は令和7年度で完了したが、市内コワーキングスペースと連携してセミナー等を開催し、起業家の増加や継

	続・発展の場の充実につなげる。
②. 13: 中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）	
事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間3件 【最新値】新規出店者＝年間3件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後から1年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後に1年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。
③. 14: 中心市街地起業者支援事業（川西市）	
事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者20人×25%＝5件 【最新値】2件 オンラインを活用したセミナーを中心に、10名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。
⑬. 33: まちのプレーヤー発掘事業（川西市）	
事業実施期間	令和7年度～【済】

事業概要	タウンマネージャーが中心となり、まちの使い方や活性化をテーマに交流し、まちで活躍するプレーヤーを発掘する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	トークセッションでまちの活動への関心を深めつつ、交流会で参加者のコミュニティ化を図る「まちの学び舎かわにし」を実施した。150名の参加があり、多くの人にまちの活動とのつながりを促すことが出来た。また、本事業をきっかけに新たなまちの活動を開始する参加者もあり、プレーヤー発掘・育成を進めることができた。
事業の今後について	よりビジネス層を対象とした事業に移行し、「LOCAL BUSINESS HUB かわにし」としてビジネスパーソンの学び合いが生まれる良質なコミュニティの形成を図る。

⑩. 68: コワーキングスペース連携起業家支援事業（川西市）【令和6年度追加】

事業実施期間	令和7年度～【済】
事業概要	市内コワーキングスペースと連携してセミナー等を開催する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和7年度からの実施に向けて、予算措置及び制度設計の検討を行った。
事業の今後について	市内コワーキングスペースと連携してセミナー・交流会を開催し、コワーキングスペースを拠点とした起業家や起業希望者のコミュニティの形成を図る。

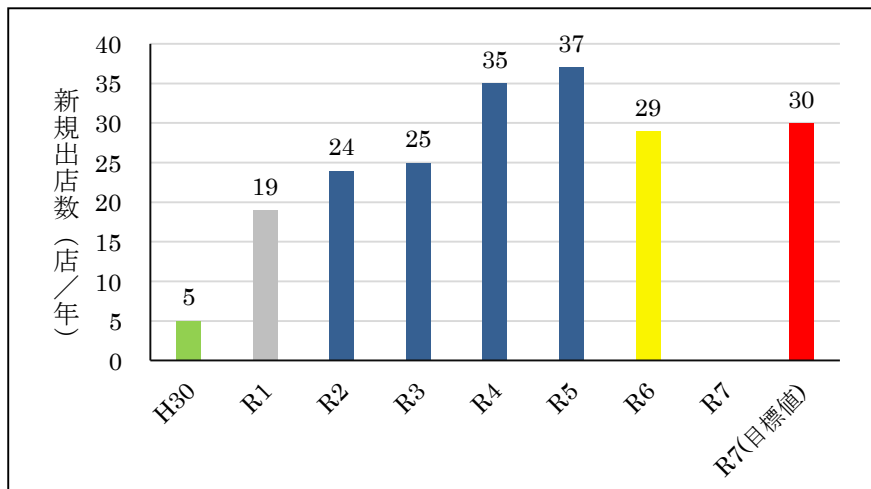
●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地空き店舗等出店支援事業、コワーキングスペース運営支援事業のほか、市や商工会による各種起業家支援などの効果が発現しはじめ、令和6年度に大幅に増加したことから、現状のままでの目標達成が見込まれる。また、まちのプレーヤーの発掘事業として中心市街地活性化協議会が事業主体となり実施した「まちの学び舎かわにし」の開催による波及効果が期待される。

今後は、令和7年度の中心市街地活性化協議会事業で予定されているコワーキングスペース連携事業やまちの学び舎かわにしを発展させた事業であるビジネスパーソンが学び合う場をつくる「LOCAL BUSINESS HUB かわにし」において、まちのプレーヤーの発掘・コミュニティ化を促進し、新規起業家数の底上げに繋げる。さらに、コワーキングスペースとの連携事業等を実施することで目標達成を目指す。

(4)「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 85 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	5 店 (基準年値)
R1	19 店 (計画前年度)
R2	24 店
R3	25 店
R4	35 店
R5	37 店
R6	29 店
R7	30 店 (目標値)

※調査方法：川西市商工会及び川西市中心市街地活性化協議会への聞き取り調査及び目視調査

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に出店した者

〈分析内容〉

中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業家支援事業の効果もあり、令和4年度、5年度は新規出店数が増加し、目標値を大きく上回ったものの、その増加傾向はピークに達したと思われる、令和6年度の新規出店数は低下した。とはいえ、目標値に迫る数値は維持しており、阪急スクエアのオープンに加え、令和7年度も継続して中心市街地空き店舗等出店支援事業などの各事業を実施することで新規出店数は増加すると予想される。なお、計画を1年延長したことにより、目標値に変更が生じている。(令和6年度目標の23店から、令和7年度目標の30店に変更)

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業(民間事業者、川西市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金(内閣府)(令和2年度～令和3年度)
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数500人×想定企業割合2%=10件 【最新値】1,257人×2%=25件 令和6年度は4月から2月までの間、令和3年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者、家賃や人件費、

	通信回線使用料の一部の補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	家賃等の費用の一部の補助は令和7年度で完了したが、市内コワーキングスペースと連携してセミナー等を開催し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげる。

②. 13: 中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間3件 【最新値】新規出店者＝年間3件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後から1年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後に1年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③. 14: 中心市街地起業家支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者20人×25%＝5件 【最新値】2件 オンラインを活用したセミナーを中心に、10名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォ

	ローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。
--	--------------------------------

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地空き店舗等出店支援事業により、小売業、飲食業の出店支援したことで、令和４年度、５年度と目標を大きく上回る新規出店があり、阪急スクエアオープンにより今後も上昇見込である。令和７年度も引き続き、市広報誌や SNS の活用、商工会等関係施設との連携などによって、各事業の周知を進めながら継続して実施することで、新規出店における目標値達成を目指すとともに、この流れを絶やさぬよう持続的な活性化に向けた更なる新規出店強化策を実施していく必要がある。